

5 航空機によるイソプロチオラン剤（フジワンAV）

の散布および散布上の注意 (農試 環境部 病害虫科)

いもち病に対し微量散布、液剤少量散布とも有効。ただし、薬剤の飛散により、自動車に塗装汚染が発生することもあるので注意が必要。

(1) 背景とねらい

本剤は、昭和55年5月6日付で登録されたいもち防除剤で、微量散布（ULV）、液剤少量散布（LVC）で航空機により散布し、その防除効果と自動車に対する塗装汚染の実態と対策を立てようとする。

(2) 具体的データ

1) イソプロチオラン（フジワンAV）使用基準

作物	適用病害	散布型式	希釈倍数	ha当り散布量	使用時期	使用回数
稲	いもち病	微量散布 (ULV)	原液	1.2～ 1.5ℓ	収穫	3回
		液剤少量散布 (LVC)	5.5倍	8ℓ	14日前まで	以内

2) 穂いもち防除効果

調査ほ場における穂いもち発生状況（各30株調査）

区別	項目	穂数本	発 病 率						指 数	
			くび (A)	しこう 多(B)	しこう 少(C)	(A)+(B)	(A)+(B) +(C)	(A)+(B)	(A)+(B) +(C)	
1.5ℓ/ha 散布区	無散布	561	20.0%	31.6%	27.6%	51.6%	79.2%	100	100	
	散 夫	651	4.2	10.2	15.4	14.4	29.8	27.9	37.6	
1.2ℓ/ha 散布区	無散布	528	0.4	2.3	15.3	2.7	18.0	100	100	
	散 布	501	0.4	1.8	6.8	2.2	9.0	81.5	50.0	

3) 指導上の留意点

本剤の散布に当たっては、登録条件のとおりとするほか、次の点について注意する。

- (1) 微量散布では薬剤の飛散により塗装汚染があるので、散布に際しては散布地域内はもちろん、その周辺路上に自動車を放置しないよう実施団体等では事前に呼びかけておくこと。
- (2) 塗装汚染は事故等により塗りかえたもの（吹付塗装によるもので塗装後は自然乾燥法によったもの）で若干の汚染があり、製造時に焼付塗装したものにおいてはほとんど汚染しない。したがって中古車センター周辺では薬剤散布のないよう配慮する必要がある。
- (3) 薬剤の汚染があった場合は農薬用展着剤を5倍程度に希釈したもので洗浄すると効果がある。